

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川 昌一 (尾崎 幸忠)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業 種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	億円
		通常砂防事業 大谷川	養父郡大屋町由良		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
養父郡 大屋町 由良				H13年度	H15年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進み土砂災害の危険性が高まっているため、対策ダムを設置して町の野菜集出荷所や農産加工所等及びそこに働く多くの人命を保全する。			・スリットダム工 1基 (H= 13.0m, L= 60m)		
評価視点					
(1)必要性		・大谷川は土石流危険渓流である。 ・流域状況は荒廃が著しいが、砂防設備は未整備である。 ・保全対象：事業所 = 1戸、公共施設 = 町道、町営施設 (野菜集出荷所、花卉集荷所、農産加工所、木材協同組合) ・流域内に不安定な転石が数多くあり、土石流発生の危険性が高い。 ・保全区域内には、町の花弁集荷所や野菜集出荷所等の産業流通施設が集まっており、防災対策の実施によって町経済の活性化の一翼を担うことができる。 ・スリットダム設置により土石流は止め、通常必要な土砂は流出させながら下流域の生態系の保全を図る。 ・地元からの事業化への要望が強い。 ・過疎対策法対象町、山村振興指定地域及び豪雪地帯対策特別指定地域に該当し、砂防ダム整備により地域間格差の是正に寄与する。			
安全・安心					
地域の活性化					
快適性・ゆとり					
その他					
(2)有効性・効率性		・町の産業流通施設や町の企業誘致が実った金属加工工場等が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。 ・地元からの要望が強く、町等の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。			
有効性					
効率性					
(3)環境適合性		・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。 ・スリットタイプにすることにより、渓流の上下流の連続性を確保し、生態系の保全に努める。			
(4)優先性		・土石流の被害想定区域には町の産業立地が進んでいるが、流域状況は荒廃が著しく、土砂災害に対して緊急な対策が必要である。 ・町の施設群や事業所とそこに働く人達の人命を保全し、町の経済拠点のより一層の整備を防災面から支援するために必要である。			
評価の結果	着手妥当	左の理由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。		